

福祉学習プログラム



社会福祉法人 若狭町社会福祉協議会

〒919-1541 若狭町市場 18-18

☎0770-62-9005 ✉chiikifukushi02@w-shakyo.or.jp

申込書は若狭町社協ホームページからダウンロードできます。

<http://www.w-shakyo.or.jp>



依頼にあたってのお願い

ご要望を伺いながら、内容の組み立てを行いますので、事前に打ち合わせの場を数回設けさせていただきます。※実施 2 ヶ月前にご依頼ください。

また、必要に応じて講師の方とも調整を行いながら、プログラム内容を作成していきます。講師によって謝金が発生する場合がございます。

高齢者疑似体験、車椅子体験については依頼元から数名ご協力をいただきます。

依頼方法・実施までの流れ

実施 2 か月前

『福祉学習企画依頼書』に必要事項を記入し、メールで送信、または当会へご持参ください。
→折り返しご連絡し、打ち合わせの日程調整をおこないます。

実施 1 か月前

依頼元と当会職員で初回打ち合わせを行います。
学習のねらい・希望の内容・日時・人数などをお伺いしながら、プログラムの組み立てを行います。

当日までに

依頼元と当会職員で当日の段取りや必要備品などの打ち合わせを行います。会場の視察もさせていただきます。

当日

プログラム実施

①「ふくし」ってなんだろう？

体験授業の前に「ふくし」について考えることで、各体験での気づきのきっかけとなります。ふくし学習の最初のプログラムとしておすすめです。

タイトル	ふくしってなあに？
内 容	「ふくし」とは特別なものではなく、自分の生活そのものであることを理解し、福祉学習に取り組む上での土台づくり
実施時間	約 45 分
必要備品	スクリーン・ノートパソコン等
備 考	内容についての相談可



②「しょうがい」って？

障がいがあっても、できることはたくさんあります。相手の気持ちを考え、思いやりの気持ちを持つことの大切さを学びます。

タイトル	「しょうがい」って？
内 容	☆どのような障がいがあるのか、困っている方を見たらどのように声をかければ良いかを気づき促す ☆障がい者マークの紹介 ☆町にどのような工夫がされているか考える
実施時間	約 30 分
必要備品	スクリーン・ノートパソコン等
備 考	内容についての相談可



③アイマスク体験

「見えない世界」ってどんな世界なんだろう……。不便なことはないのかな？アイマスクを使って、目が見えない感覚を自分で体験し、視覚障がい者への理解を深めます。

タイトル	見えない世界を体験しよう
内 容	☆アイマスク体験 (例)階段の上り下り、白杖の使い方 ☆ガイドヘルプの仕方 ☆アイマスクをつけて音当てクイズ
実施時間	10人で40分程度
必要備品	アイマスク、白杖
備 考	



④点字を体験してみよう

視覚に障がいをもつ方のコミュニケーションツールが「点字」です。

点字を体験し、手の感覚で文字を感じる体験をすることができます。

タイトル	点字を体験してみよう
内 容	☆点字の成り立ち、仕組みについての説明 ☆点字の読み方 ☆点字器の使い方 ☆自分の名前を点字器で打つ
実施時間	約 90 分
必要備品	点字器、点字用紙、黒板またはホワイトボード
備 考	講師：むつみ会(木下氏、金森氏、世戸氏) ※可能な範囲で謝礼



⑤手話を体験してみよう

聴覚に障がいをもつ方のコミュニケーションツールが「手話」です。

あいさつなどの簡単な手話を通して、言葉を使わずに相手に気持ちを伝えるということを体験を通して感じることができます。

タイトル	手話で心をつなげよう
内 容	☆日常生活でよく使う手話を覚える
実施時間	約 90 分
必要備品	黒板またはホワイトボード
備 考	講師：前田みほこ氏 ※可能な範囲で謝礼



⑥車いす体験

車いすの安全な使い方や操作方法を学びます。車いすで生活をする視点や気持ちについて考えます。

タイトル	車いすに乗ってみよう
内 容	☆車いすの使用方法和介助方法の説明 ☆車いす体験内容 (例) 乗り降り、段差、坂道
実施時間	20 人で 90 分程度 ※依頼元 2 名の協力必要
体験場所	体育館、講堂
必要備品	車いす・・・社協で準備します マット、三角コーン、ロープ、すのこ、 ホワイトボード等、その他必要に応じて
備 考	車いすの台数に限りあり



タイトル	車いすに乗って日常生活を過ごす
内 容	☆体育館等での体験形式ではなく、車いすに座って授業を受けたり、休み時間を過ごして車いすに乗っておられる方の気持ちを考える
実施時間	各学校の方針にお任せします
必要備品	車いす
備 考	車いすを2台貸出可能(応相談)



⑦高齢者疑似体験

高齢者疑似体験用具を装着し、体の動きにくさを感じることができ
ます。高齢者の大変さを知ることができ、思いやりの心を育みます。

タイトル	おじいちゃんおばあちゃんになってみよう
内 容	☆高齢者についての話 ☆高齢者疑似体験の装着方法 ☆高齢者疑似体験内容 (例) 段差の上り下り、豆つかみ、本読み、 体の起き上がりなど
実施時間	15 人で 90 分程度 ※依頼元 2 名の協力必要
体験場所	体育館、講堂
必要備品	高齢者疑似体験セット、体験に使用する道具 (上記は社協で準備します) ホワイボード、椅子(グループ数) ※その他打合せ時に必要物品について要相談
備 考	複数人のグループで実施



⑧障がい者スポーツを知ろう

福井国体が開催されたことで、「障がい者スポーツ」へも関心が高まりました。障がいを持ちながらもスポーツを楽しむことが出来るように工夫されたスポーツです。

タイトル	車いすバスケット、フライングディスク、ボッチャ
内 容	☆障がい者スポーツについての説明 ☆体験(車いすバスケット、フライングディスク、ボッチャ)
実施時間	約 90 分
備 考	講師：しあわせ福井スポーツ協会 <u>※2 か月前には予約が必要</u> ※可能な範囲で謝礼



⑨ユニバーサルデザインを知ろう

さまざまな人が暮らす町の中には、ある人は使いやすいものでも、別の人は使いにくかったりすることがあります。こうした問題を解決するものとして「ユニバーサルデザイン」があります。身近なユニバーサルデザインを知ることで、自分の住んでいる町を違う視点から考えることができます。

タイトル	ユニバーサルデザインを知ろう
内 容	☆生活の中でどんなユニバーサルデザインがあるかを知る ☆ユニバーサルデザインを探してみよう
実施時間	約 30 分
必要備品	ノートパソコン、スクリーンなど
備 考	

